

みんなでつくる園の未来!

# 保育ナビ

1

2024  
JANUARY  
<10/12>

特集

保育者必読!

## より良い「指導案」 「実践記録」「園だより」の 作り方、書き方

コンサルタントが読み解く  
新時代の園経営 2023

地域づくりの中心として  
園が担える役割

子どもとつくる 対話でつくる  
保育のすすめ

カエルちゃん、  
死んじゃった

保育が変わる!  
保育環境の片付け  
倉庫(季節の物)

Hoiku  
navigation

巻頭

フリーベルのことは 汐見稔幸 小西貴士

幼保小の架け橋プログラム特別座談会

幼児期の「学びの芽生え」を自覚的な学びに〈前編〉…4

無藤隆 (白梅学園大学名誉教授) 安藤浩太 (昭島市立光華小学校主任教諭)  
武山朋子 (鎌倉女子大学非常勤講師) 津久井光恵 (認定こども園あかみ幼稚園保育教諭)  
青木博子 (新潟市立沼垂幼稚園園長)

特集

主 保育者必読!

より良い「指導案」

「実践記録」「園だより」の  
作り方、書き方…10

師岡章

園のかたち2023…20

かやのみこども園 (広島県福山市)

主 はじめてのICT活用術…24

秋田喜代美

3・4・5歳児

遊びが育つ保育…26

保育者が提案する

クラス活動と遊び Part II

田代幸代

主

0・1・2歳児の  
保育のきほん…30

保育者の育ち編、

井桁容子

子どもへのGIFT

恩物の世界…32

和久洋三

保育者は、業務の特性上、日々あらゆる種類の文書を作成しなければなりません。今回の特集では、保育者が作成している文書の種類や役割を整理し、実践事例をもとに、書かれるべき必要十分な内容とは何かを検討しながら、より良い書き方、作り方について考えます。



『保育ナビ』が伝えたいこと

保育者や園の基礎力を高める  
ヒントをご活用ください!

『保育ナビ』も新年を迎えました。2024年にどんなことが起きるのか、今は予測困難な時代になったと言われますが、どんな時でも身につけた基礎となる知識やスキルが役に立ちます。今月は、保育者に求められる文書作成力のレベルアップに役立つ特集のほか、保育者や園の基礎力を高めるヒントを掲載しています。本年も『保育ナビ』をご活用いただけましたら幸いです。——『保育ナビ』編集部

園の動き

園

国の動きを読む!  
研究者の目2023…34

矢藤誠慈郎

幼保小の架け橋プログラム特別座談会

幼児期の「学びの芽生え」を  
自覚的な学びに〈後編〉…36

※P.4～9の続きです。

## 『保育ナビ』の使い方

読む



まずは、自分で読みます。回覧したりして、園内でも各自で読みます。

話す



読んだ記事をもとに、園内で「雑談」したり「研修」をしたりしてみましょう。

保育の質の  
向上へ



読み、話すことで、園内で学び合い・語り合いが生まれ、保育の質が高まります。

マークのついているコーナーでは、園内で話し合うためのお題・ワークを用意しています。職員会議や園内研修などでご活用ください。

マークのついているコーナーは毎月、「保育ナビ倶楽部」メールマガジン(年間購読特典)にて動画のご案内を配信します。ぜひ、ご登録ください!



【今月のおすすめ】

園長・主任・学年リーダーにおすすめのコーナーを選んでマークを表示しています。

園長 主任 学年リーダー

園経営

コンサルタントが読み解く  
新時代の園経営2023 …… 42  
桑戸真一 柿沼平太郎

質を高める危機管理 …… 44  
生活も保育も質を向上させよう  
脇貴志

人材育成

園のリーダーのための  
リスペクト型マネジメント  
子どもを真ん中に  
園づくり・まちづくり …… 46  
大豆生田啓友 駒崎弘樹

保育内容

子どもとつくる  
対話でつくる  
保育のすすめ …… 50  
子どもたちのミーティングを通して  
青山誠

「こどもまんなか社会」に向けて、園が地域の真ん中になるためには何が必要でしょうか。様々な社会課題解決のために、園の多機能化を目指す取り組みをご紹介します。

園

保育を深める  
編集委員の  
おすすめ書籍 …… 58  
大澤力  
保育が変わる!  
保育環境の片付け …… 60  
川辺尚子

『保育ナビ』編集委員の「保育を深めるための書籍」を紹介しています。今号はジブリ作品の制作秘話を知ることができる書籍です。保育の合間に読書はいかがでしょう。

Information・  
『保育ナビ』読者からの声 …… 62

みんなの  
保護者対応! …… 65

始めよう  
子どもの姿ベースの  
指導計画 …… 66  
大豆生田啓友 松山洋平

巻末

子どもと保育を思う日々から  
無藤隆

# 幼児期の「学びの芽生え」を 自覚的な学びに〈前編〉

「幼保小の架け橋プログラム」が動き始める中、現場はどのような状況なのでしょう。幼児教育・小学校それぞれの立場での架け橋プログラムにまつわる現状や悩み・今後についてを、語り合っていました。

(座談会は2023年7月に実施)

## 幼保小の 架け橋プログラム 特別座談会

東京書籍×フレール館

この企画は、小学校から高等学校までの教科書事業を手がける東京書籍と、保育・幼児教育を支えるフレール館のコラボレーションによるものです。

安藤浩太  
先生

昭島市立光華小学校  
主任教諭

コーディネーター  
無藤 隆  
先生

白梅学園大学  
名誉教授

武山朋子  
先生

鎌倉女子大学  
非常勤講師

津久井光恵  
先生

認定こども園  
あかみ幼稚園  
保育教諭

青木博子  
先生

新潟市立沼垂幼稚園  
園長

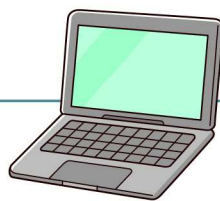
保育者  
必読!

より良い

「指導案」「実践記録」

「園だより」の

作り方、書き方



保育者は、業務の特性上、日々あらゆる種類の文書を作成しなければなりません。それはとても大切な業務ですが、内容の重複や過度に詳細な記載等で文書量が増えると、その他の業務を圧迫し大きな負担の種になってしまいます。そこで、今回の特集では、まず、保育者が作成している文書の種類や役割を整理し、実践事例をもとに、書かれるべき必要十分な内容とは何かを検討しながら、より良い「指導案」「実践記録」「園だより」の書き方、作り方について考えます。

監修/

師岡 章

(白梅学園大学 教授)



## CONTENTS

- 1 「指導案」「実践記録」  
「園だより」の意義と役割 …P.11
- 2 事例紹介
  - ① 週案・日案などの  
短期的指導案 …P.12  
(事例提供) 目黒区立中町保育園 (東京都目黒区)
  - ② 実践記録 …P.14  
(事例提供) 白梅学園大学附属白梅幼稚園  
(東京都小平市)
  - ③ 園だより …P.16  
(事例提供) 社会福祉法人巨玉会  
桜ヶ丘第一保育園 (東京都多摩市)
- 3 まとめ …P.18

# INDEX

カテゴリー別で保育をさらに深めます

## 国の動き

34

国の動きを読む！ 研究者の目 2023  
〈こども家庭庁編〉

子ども・子育て支援制度に  
おける継続的な見える化について

36

幼保小の架け橋プログラム特別座談会  
幼児期の「学びの芽生え」を  
自覚的な学びに〈後編〉

## 園経営

42

コンサルタントが読み解く  
新時代の園経営 2023

地域づくりの中心として  
園が担える役割 ②

44

“質”を高める危機管理  
～生活も保育も質を向上させよう

【リスクテイク】  
保育におけるリスクテイク

## 人材育成

46

園のリーダーのためのリスペクト型マネジメント  
子どもを真ん中に 園づくり・まちづくり

社会課題解決のために  
園が多機能化する

## 保育内容

50

子どもとつくる 対話でつくる 保育のすすめ  
～子どもたちのミーティングを通して

カエルちゃん、死んじゃった

58

保育を深める  
編集委員のおすすめ書籍  
『天才の思考 高畑勲と宮崎駿』

60

保育が変わる！  
保育環境の片付け  
倉庫（季節の物）

62

information  
『保育ナビ』編集部からのお知らせ、  
『保育ナビ』読者からの声

65

みんなの保護者対応！  
子どもの就寝時間に悩む  
Aさん(母)とBさん(父)

66

始めよう  
子どもの姿ベースの指導計画  
保育者の専門性を意識しながら  
相手に伝えること

# 幼保小の 架け橋プログラム 特別座談会

東京書籍×フレーベル館

この企画は、小学校から高等学校までの教科書事業を手がける東京書籍と、保育・幼児教育を支えるフレーベル館のコラボレーションによるものです。

出席者

(コーディネーター)

無藤 隆先生  
(白梅学園大学名誉教授)

武山朋子先生  
(鎌倉女子大学非常勤講師)

青木博子先生  
(新潟市立沼垂幼稚園園長)

安藤浩太先生  
(昭島市立光華小学校主任教諭)

津久井光恵先生  
(認定こども園あかみ幼稚園保育教諭)

## 幼児期の 「学びの芽生え」を 自覚的な学びに〈後編〉

前編 (p.4~9) に引き続き、幼保小架け橋プログラムについての座談会の様子を紹介します。楽しいエピソードも次々と披露され、充実した座談会となりました。

(座談会は2023年7月に実施)



# 子どもを真ん中に 園づくり・まちづくり

## 園のリーダーのための リスペクト型マネジメント

少子化が深刻化するなか、園にはどのような役割が求められるのでしょうか。今こそ園が地域の中心になり、「リスペクト型マネジメント」の視点でまちづくりを進めていきましょう。



イラスト●すぎやまえみこ



第10回

## 社会課題解決のために 園が多機能化する



インタビュー：  
大豆生田啓友  
(玉川大学)

認定NPO法人  
フローレンス  
会長 駒崎弘樹さん



法人の概要

2004年病児保育問題解消のためにNPO法人フローレンス設立、翌年より自宅訪問型の病児保育を開始。2010年から待機児童問題解決のために都心の空き物件を活用した0～2歳児の小規模保育園「おうち保育園」を開設。その他、障害児・家庭支援問題、孤育（孤独な子育て）問題、赤ちゃん虐待死問題等、様々な社会課題解決のための活動を行う。

今月の  
事例園  
ポイント

## 園の強みや資源の豊かさをアピールするチャンス

### 社会課題に コミットするために

「こどもまんなか社会」に向けて、園が地域の真ん中になっていくことが重要です。認定NPO法人フローレンスは、一貫して地域や社会の課題にコミットしようとしています。ある子ども・ある保護者の個人的な課題に見えることを、社会全体の課題と捉えて、なんとか解決していこうという意識があるのです。これは、これからの時代の園運営への大事なメッセージだと、改めて感じました。

地域の抱える社会課題をどう解決していくのか。今回の駒崎さんのお話には、「こども食堂」や「こどもインターンシップ」というキーワードが出てきましたが、これからの園は保育だけでなく、地域のあらゆる子育て支援の機能を担っていくことが求められます。特に、福祉的な役割です。

そのためにはどのような人材が必要なのか、また時には外部の手助けも必要でしょう。園のもつ資源を最大限に活用しながら、社会福祉士や精神保健福祉士、医師等他職種との連携も必要です。この連携が真の意味での支援につながり、子育てのしやすさにつながっていくことでしょう。

### 多機能化しつつ 保育の質を担保する

園の多機能化が進むと、保育の質をどう担保していくか、保育体制をどう維持していくかという課題も出てきます。そこに対するリーダーのマネジメント力が問われてきます。認定NPO法人フローレンスでは、そこにも目を配りながらやっているとのこと、多機能化と保育の質の担保が両輪となるという、今後の方向性が見えてきたように思います。

(大豆生田啓友)

プロフィール●大豆生田啓友（おおまめうた ひろとも）／玉川大学教育学部教授。専門は保育学、乳幼児教育学。「就学前のこどもの育ちに係る基本的な指針」に関する有識者懇談会 座長代理。著書に「子どもの姿ベースの指導計画シリーズ」（全3巻）「園のリーダーのためのリスペクト型マネジメント」（全2巻、共にフレーベル館）ほか多数。





## 園づくり・まちづくり — はじめの一步 —

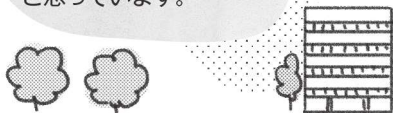
「保育園の多機能化に向け、やれることはたくさんあるはず」と話す駒崎さん。園が開かれ、子どもを真ん中とした社会への推進装置となるための取り組みをうかがいました。

今月の事例	
まちの子どもも支える	まちの資源を使わせてもらう
園を開いてまちの人とつながる	まちへ出かけてまちの人とつながる

地域の中の園づくりについて、今回の事例に当てはまる類型を示しています

### 保育園が総合児童福祉施設へ

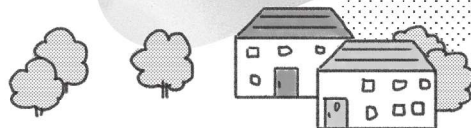
私たちは自宅訪問型の病児保育や小規模保育園を展開してきましたが、今後の保育園は、保育を軸にしつつも子どもを中心としたまちづくりの中核へと変化していくと考えています。保育園がその専門性を活かして地域の総合児童福祉施設となり、そこにまちづくりの機能が付け足されていく——、そんなすてきな役割を園が担っていければと思っています。



### 地域の子育て支援の拠点となる

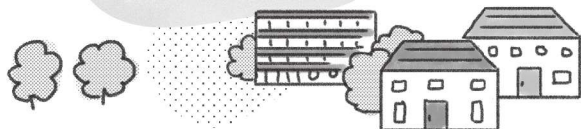
園の多機能化への取り組みとして、「保育園こども食堂\*」「こどもインターンシップ」を始めました（詳細はP.48-49）。また今後は「出産を迎える親の体験学習」の1つとして、父親が園で子育てを体験する「パパトレ」も予定しています。

\*認定NPO法人フローレンスでは、こども家庭庁補助事業「ひとり親家庭等の子どもの食事等支援事業」を受託し、全国で保育園こども食堂を実施する団体へのサポート事業を実施。



### 保育者の負担軽減と両輪で進める

保育園が多機能化する上で忘れてはいけないのは、保育者への負担軽減や保育の質の担保です。そのためには保育士の配置基準を改善し、報酬もプラスして増員する必要があります。例えば東京都では独自の制度として「保育サービス推進事業補助金」がありますが、類似制度を国として創設し、全国で多機能化を推進したいと提言を行っています。



### 小規模保育園としてできること

私たちが運営する小規模保育園は、少人数だからこそそのきめ細やかさがあり、子どもに障害があったり、養育不全だったりする家庭とも手厚くかわっていけるという強みがあります。この強みを活かして、厳しい環境の子どもたちをより丁寧にケアする保育園となっていくとともに、地域の子どもの福祉を支える存在になっていきたいと思います。

プロフィール●駒崎弘樹（こまさき ひろき）／1979年生まれ。「地域の力によって病児保育問題を解決し、子育てと仕事を両立できる社会をつくりたい」と、2004年にNPO法人フローレンスを設立。政策提言や担い手の育成を行うため、一般財団法人日本病児保育協会、NPO法人全国小規模保育協議会、全国医療的ケア児者支援協議会を設立。厚生労働省「イクメンプロジェクト」推進委員会座長、内閣府「子ども・子育て支援等分科会」委員等歴任。

# 地域の親子とつながるための 「こども食堂」や「こどもインターン」

「園が多機能化し、地域の子育て支援の拠点になる」ために、園は具体的に何をすればよいのでしょうか。病児保育や小規模保育、障害児保育等、様々な新しい保育の形を提案してきた駒崎さんに、最近のフローレンスの取り組みをうかがいました。



## 園を開いて まちの人とつながる



「園には子どものための安全な環境があり、調理施設があり、子育ての悩みを相談できる相手があります。これらの園の強みを活かして、地域の親子とつながりたいと考え、『保育園こども食堂』を始めました。当園に通っている親子はもちろん、近隣の保育園に通う親子、母子寮の方、専業主婦で子育て中の方など、多くの方が来てくれて大盛況でした。地域に住まう方々との接点ができました」（駒崎さん）

妊娠中ではほんの用意がしんどかったのですが、たいへん助かりました。



保護者

子どもたちも慣れ親しんだ味でたくさん食べてくれるし、親も外食にはない栄養バランスの良い食事を食べられてうれしい。

「『保育園こども食堂』は、子育てに追われている人たちにとって家事や育児負担の軽減になりますし、孤独な子育ての解消にもつながります。メニューはから揚げや煮物、みそ汁等、普段子どもたちが園で食べているものが中心で、無料です。食事の後は、子どもたちはお絵描きや紙芝居に熱中し、保護者は保育者に悩み相談をしたり、同じ子どもをもつ親同士で情報交換をしたりと交流していました。『保育園こども食堂』をきっかけに、園の一時預かりを利用するようになった未就園児の保護者の方もおられます」（駒崎さん）

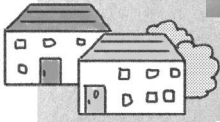
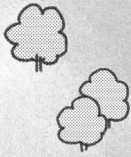




## まちの子どもも 支える



「夏休み期間中、小中学生に保育園で職場体験をしてもらう『フローレンスのこどもインターン』を実施しました。参加者は、半日～1日、“こども社員”として保育者の仕事を体験します。始めたきっかけは、保護者からの『小学生になった子どもの夏休み中の居場所がなくて』という声。長期休みに1人で過ごす時間が多い小中学生に居場所をつくるとともに、将来の職業を考えるきっかけにしてほしいという思いもあり、キャリア教育という視点をプラスして『インターン』としました」（駒崎さん）



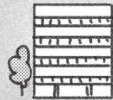
中学生

やりがいを感じられる仕事は、たいへんさに勝るくらい楽しいことを知りました。小さい子どもがとてかわいかったです。



園で話し合ってみましょう  
あなたの園の強みや専門性を活かして、どんな子育て機能を  
増やせるでしょうか。

園で話し合ってみましょう



『『フローレンスのこどもインターン』では、まず園長から保育理念や1日のスケジュールをレクチャーしてもらい、その日に学びたいことを子ども自らが目標設定します。そして保育者と共に保育に入ります。園児と水遊びをしたり、午睡の寝かしつけをしたり、部屋の掃除やおもちゃの消毒をしたり。仕事終了後には、園長から感謝状とその日のハイライトをまとめた手作りのカードが送られました。園児たちにとっても小中学生と遊ぶことは格別楽しかったようです」（駒崎さん）



# information

## 『保育ナビ』編集部からのお知らせ

『保育ナビ』編集部では、4つのメディアでも  
保育情報を配信しています。

『保育ナビ』  
の  
情報を  
もっと!

『保育ナビ』の公式サイト

<https://www.hoiku-navigation.com/>



メールマガジン「保育ナビ倶楽部」

<https://www.hoiku-navigation.com/news/naviclub2023/>



『保育ナビ』の公式 Facebook

<https://www.facebook.com/froebelkan.hoikunavi/>



『保育ナビ』YouTube チャンネル

[https://www.youtube.com/channel/UCP4zj6p\\_z7LQ-G0ecoFY1fQ](https://www.youtube.com/channel/UCP4zj6p_z7LQ-G0ecoFY1fQ)



『保育ナビ』年間購読者限定のメールマガジン「保育ナビ倶楽部」（登録無料）。保育に役立つ情報をタイムリーにお届けします。

- ①園経営から保育エッセイまで、保育に役立つ情報を配信
- ②『保育ナビ』と連動した解説動画のお届け
- ③『保育ナビ』最新記事情報
- ④保育オンラインセミナー・商品情報

# 保育ナビ

# 「保育ナビ」読者の声

「保育ナビ倶楽部」の会員の皆さんから届いた、エピソードを紹介します。  
今回のテーマは、「子どもたちとのエピソード」です。

読者の皆さんのエピソードをお待ちしています！

保育ナビ公式サイトより投稿ください。  
<https://www.hoiku-navigation.com/2023/02/13/oubo/>



## みんなで一緒に野菜づくり

「先生、芽が出たよ」「先生、お水あげていい?」。毎朝、園に隣接する畑から響く子どもたちの声です。今年はず、2～5歳児の縦割りグループで夏野菜の苗を植えました。トマト、ナス、キュウリ、ピーマン、エダマメ、カボチャ、トウモロコシ。野菜を植えて水をあげて生長を見守りました。夏、子どもたちは、給食に野菜が出るたびに「畑の野菜だね」と喜んで食べていました。今は、ニンジン、ハクサイ、ダイコン、キャベツ、ブロッコリー、カブと冬野菜の種を植えていて、今年も5歳児は切り干し大根を作る予定です。緑いっぱいの自然に恵まれた環境に感謝しながら、今日も畑からは子どもたちの元気な声が聞こえてきます。  
(ゆうゆうくじら第2保育園 園長 柗弘子)

## フレーベル館主催セミナー フレーベル館 2024年1月開催 保育オンラインセミナー

1月開催 LIVE オンラインセミナーのご案内 (14日間の収録配信付き)

### 子ども理解のポイントと 指導援助実践

LIVE 開催日時：1月19日(金) 13:15～14:30  
収録配信：2月2日(金)～2月15日(木) 予定  
価格(税込)：〈個人申込〉5,500円  
〈園申込〉22,000円

講師：師岡章先生  
(白梅学園大学教授)



### 子どもたちの表現のきらめき ～造形遊びの意味とその実践～

LIVE 開催日時：1月24日(水) 13:15～14:30  
収録配信：2月7日(水)～2月20日(火) 予定  
価格(税込)：〈個人申込〉5,500円  
〈園申込〉22,000円

講師：水島尚喜先生  
(聖心女子大学教授)



1月配信開始 オンデマンドセミナーのご案内 (収録したセミナーを、ご希望の1か月間いつでも・何度でも視聴できます。視聴期間は各月の1日～末日となります)

職員同士の対話を促進する保育現場のファシリテーション入門 講師：鈴木健史先生(東京立正短期大学准教授)

子どもがじぶんで考え始める!あそびとかかわり方の工夫 講師：池上正先生(NPO法人I.K.O市原アカデミー理事長)

自然から学び、自然のなかで育む～子どもも大人も心地よい保育～ 講師：野村直子先生(一般社団法人new education LittleTree代表理事)

「協創に向けた、[新しい園内研修]のかたちを考える」 講師：秋田喜代美先生(学習院大学文学部教授) 無藤隆先生(白梅学園大学名誉教授)

※フレーベル館は幼稚園・認定こども園様について、処遇改善等加算IIに係る研修の実施主体認定を全国で受けております。ご案内しているすべてのセミナーが対象です。

※LIVE配信はウェブ会議サービスZoomによるオンラインセミナーです(収録配信は動画共有サイトVimeoを使用します)

※オンデマンドセミナーは動画共有サイト「Vimeo」でのオンデマンド配信です。

※配信時期、テーマ、内容、受講料、講師は予定です。一部変更となる可能性があります。最新の情報や申込方法・セミナーの詳細はフレーベル館ホームページからご確認ください。

(右の二次元コードからアクセス、もしくは「フレーベル館 セミナー」で検索してください)



【問い合わせ先】株式会社フレーベル館 セミナー事務局 メール：[seminar@froebel-kan.co.jp](mailto:seminar@froebel-kan.co.jp) 電話：03-5395-6637

2024  
年度

フレーベル館 月刊保育絵本のご案内

# キンダーブックのご案内

季節や行事、発達に合わせた構成で、保育の流れ  
(導入・展開・確認)のなかで場面に応じて活用していただけます!

総合誌

スキンシップ



キンダーブックじゅにあ  
(1・2・3歳児向け 税込400円)

生活習慣と社会性



キンダーブック1  
(2・3歳児向け 税込430円)

自己肯定感



キンダーブック2  
(3・4歳児向け 税込470円)

非認知能力



キンダーブック3  
(4・5歳児向け 税込470円)

就学準備

学習  
絵本



がくしゅうおおぞら  
(5歳児向け 税込470円)

自然との関わり

科学  
絵本



しぜん-キンダーブック-  
(4・5歳児向け 税込500円)

スキンシップ

おはなし  
絵本



ころころえほん  
(1・2・3歳児向け 税込410円)

想像力



キンダーメルヘン  
(3・4歳児向け 税込410円)

豊かな心



キンダーおはなしえほん  
(4・5歳児向け 税込410円)

生きる知恵



キンダー  
むかしむかしライブラリー  
(4・5歳児向け 税込380円)

詳しくは  
ホームページを  
ご覧ください。



お申し込みは  
貴園営業担当または営業推進チーム (03-5395-6608) まで  
オンラインショップ「おうちでキンダーブック」からも  
ご購入いただけます。

